

第32回 神戸地本委員会を開催！

2024春闘勝利に向け、神戸地本総団結へ！

JR西労組神戸地本は、3月5日(火)、元町学校厚生会館において、「第32回神戸地本委員会」を開催し、委員、執行部、来賓、傍聴者含め約80名が出席した。

委員会は、出席者全員で黙禱を行い、議長に音瀬委員(姫路支部)を選出し、議事に入った。

冒頭、執行部を代表して、大内委員長より、能登半島地震で被災された方々にお見舞いの気持ちを述べた後、安全、2024春闘、組織、業務課題、政治について挨拶を行った。そして、本委員会が活発な議論で盛会となり、神戸地本総団結して24春闘を盛り上げる決意を固める場となることを祈念し、挨拶を締めくくった。

来賓には、中央本部から上村委員長、田中政策・調査・福祉対策部長、梅岡組織・業務部次長を迎え、代表して上村委員長より、能登半島地震、安全、2024春闘について挨拶を受けた。

議事では、昨年の地本大会以降の運動の総括と当面する活動方針(案)が提起され、7名の委員から21項目についての発言があった。石原書記長の総括答弁の後、委員会スローガンをはじめとする全ての議事が満場一致で確認された。



神戸地本 大内委員長



中央本部 上村委員長

質疑内容

林青年女性委員長が委員会スローガンを元氣よく提起し、最後に大内委員長の力強い団結ガンバローで閉会した。

瀬戸委員(明石電車区)

- ・2024春闘について
- ・運転適性検査会場の増設について
- ・業務用タブレットでの超勤申請について
- ・スムーズな就業証明書の発行について
- ・育児休暇取得書類提出の条件緩和について
- ・短日勤務制度のあり方について

寺尾委員(相生運輸)

- ・短日勤務制度8日の適用拡大について
- ・配偶者の祖父母、兄弟の忌引き休暇の日数拡大について

松本委員(加古川運輸)

- ・駅のPT運用について

竹田委員(姫路新幹線電気区)

- ・新幹線電気部門の管区を越えた統合について

本庄委員(神戸支部)

- ・総合共済の制度改定について
- ・鉄道電話の廃止について
- ・2024春闘における各種手当について
- ・小集団活動における超勤について

林委員(姫路列車区)

- ・姫路列車区の建屋の老朽化について
- ・赤穂線の輸送力の適正化について
- ・車掌の要員不足について
- ・運転士の要員過剰について

安部委員(西明石運輸)

- ・業務用タブレットの個人配布について
- ・新幹線直接改札口について

「2024春闘学習会」開催

地本委員会の前段に同会場において、「2024春闘学習会」を開催し、中央本部 田中政策・調査・福祉対策部長より、2024春闘を取り巻く情勢について解説を受けた。

今春闘では将来を見据えた「人財への投資」の重要性を訴え、「働きの価値に見合った賃金水準の追求」と「物価上昇への対応」「離職防止、人材確保」に繋がる「未来づくり春闘」に全力で取り組むことが伝えられた。



2024春闘について
解説を行う
中央本部 田中部長



神戸地本 橋本賃金対策部長
司会を務める



大内委員長と出席者による
春闘勝利に向けた団結ガンバロー



議長を務める
姫路支部 音瀬委員

